

鈴木みどり 議員

無会派

第4次男女共同参画基本計画が制定されたが、本市の対応は？

問

(1) 昨年12月25日に第4次男女共同参画基本計画が閣議決定された。

あらゆる分野における女性の活躍の促進と言われているが、現在の本市での審議会などの女性の割合はどのくらいか。

(2) 市役所で女性職員はいない課はあるか。女性の活躍ということでは、各部署に女性職員を入れていただきたいと考えるがどうか。

(3) 第4次男女共同参画基本計画が制定されたが、どのように進めていくのか。

弥富市男女共同参画プランを1年前倒して策定していきたい

答 総務部長

(1) 審議会などにおける女性委員の数は63名で、女性

の比率は26・69%となっている。

また、行政委員会における女性委員の数は3名で、女性の比率は9・38%となっている。

(2) 現在、財政課、監査委員事務局、庁舎建設準備室の3課である。過去には、女性を配置していたが、人事異動の関係で現在は男性職員のみとなっている。

(3) 女性活躍推進法に基づく推進計画の指針を考慮し、弥富市男女共同参画プランを積極的に推進していく。

また、本市第1次総合計画において、計画期間が21年度から30年度となっているが、32年度からの計画策定を1年前倒して総合計画と同時の31年度から策定していきたい。

白鳥コミュニティセンターを利用する幼児への配慮を！

問

(1) 白鳥コミュニティセンター2階にあった視聴覚室が、手狭になった児童クラブに変更された。もう視聴覚室として活用しないのか。

(2) 当初から児童館の役割も果たしての白鳥コミュニティセンターであったが、子どもが利用しているトイレは大人用を想定してつくってあると思われる、児童館を利用する小さな子では石けんも蛇口も手が届かない。

トイレも子ども用はほとんどなく、洋式トイレは1据あるのみ。児童館として施設を使うならば、対策が必要と考えるがどうか。

幼児が利用しやすいよう配慮していく

答 民生部長

(1) 白鳥コミュニティセンターは、8年度に児童館の機能を備えた複合施設として竣工して、15年に児童ク

ラブを開設して今日に至っている。

今後の児童クラブの利用者数が大幅に減少しない限り、引き続き児童クラブとして利用をさせていただきたい。

(2) 使いにくいとの御指摘をいただいております。幼児用の補助便座の設置と洗面所には踏み台を用意する。

佐古木地区の住宅火災後の火災ごみの処理の目途は？

問

(1) 昨年10月末の佐古木地区における火事後の進捗状況を尋ねる。

(2) 近隣住民は、なかなか進まない状況の中で、これから迎える台風シーズンにとても不安を持っている。

火災ごみの処理をいつまでに行けると考えているか。

8月を目途に代執行により撤去したい

答 市長

(1) 相続の対象者を確定するために現在、戸籍の照会

を行っている。

相続を確定するために、大変な時間と諸費用も発生する。

そういう状況の中で、一刻も早く相続人を確定させていただきたいが、いましばらくの時間の猶予をいただきたい。

(2) 近隣住民の不安を考慮して火災で発生した残焼物を行政が先に処理をしたいと考えている。処理については8月末を目途に撤去したい。

なお、これに要した費用は、4月1日より施行された環境保全条例の規定により相続をした者に対して徴収することになる。



▲佐古木地区火災現場の現状